

🏠 これからの住宅のトレンド 🏠

ZEH・HEMS・IoT住宅で

省エネで

快適な

住まいに



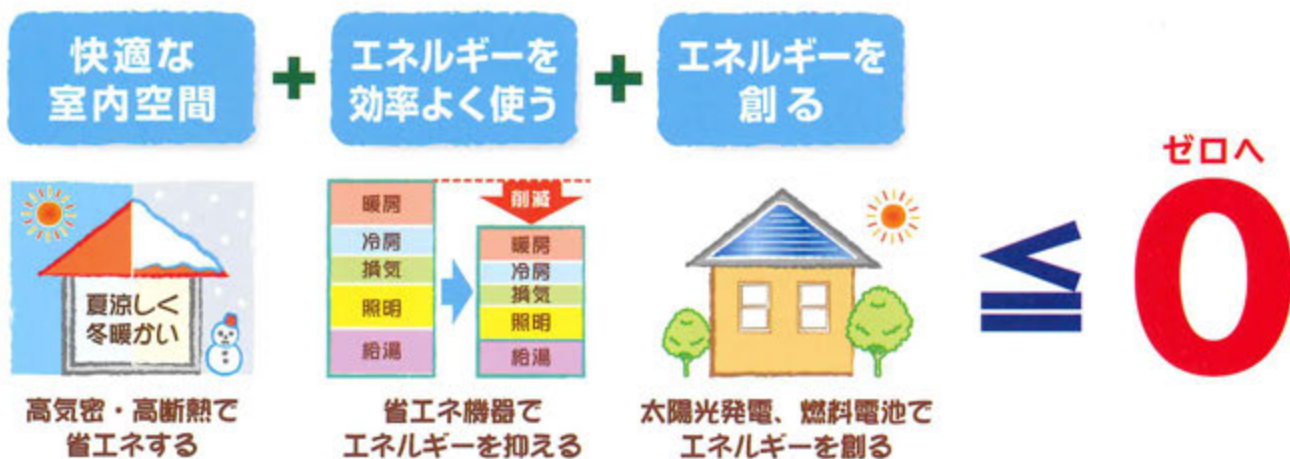
2020年ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を 新築戸建住宅の過半数へ*

家庭にも省エネが求められている

COP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)において、日本は2030年度までに温室効果ガス排出量の26%の削減(2013年度比)を公約しました。家庭部門においては、約39%の削減が求められています。

ZEH(ゼッチ)とは?

快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備により、できる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電などによりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が、正味(ネット)で、概ねゼロ以下になる住宅のことをいいます。



*経済産業省「エネルギー革新戦略」より





HEMS (Home Energy Management System) を 2030 年全世帯導入へ*

HEMS (ヘムス) とは？

Home Energy Management System (ホーム エネルギー マネージメント システム) の略で、**家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム**です。

HEMS を設置した ZEH の住宅では、HEMS によって、きめ細やかな電気の使用量が把握でき、省エネ目標の設定も可能で、家計にも環境にもやさしい暮らしができます。

HEMSで
できること

エネルギー使用量の 見える化

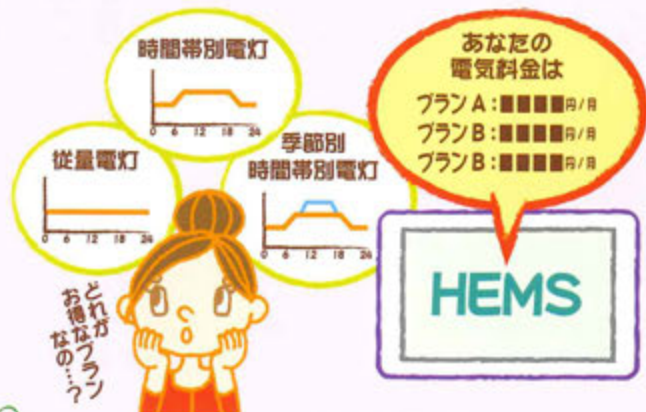
電気やガスのエネルギーの
日々の使用量や料金が、一
目で分かる

家電・住宅設備をかしく 最適に自動制御

エネルギーの効率的な利用
のために、家電・住宅設備
を自動制御

料金プラン選びにも役立つ！

HEMS では、「スマートメーター」や「分電盤」などで、住宅内のエネルギー使用パターンをしっかり把握し、データも保存できます。そのため、様々な電力料金プランの選択や変更にも役立ちます。



* 経済産業省資源エネルギー庁「長期エネルギー需給見通しにおける省エネルギー対策及び省エネ量の推計方法について」より



インターネットで
家ごとつながる

IoT

IoT (Internet of Things) 住宅は 家ごとつながるこれからの住まい

IoT (アイオーティー) とは？

これまでは、インターネットには、パソコン、タブレット、スマートフォンがつながって、情報をやり取りしていました。

しかしこれからは、**エアコン、インターホン**などの“モノ”もつながっていきます。これがIoT (Internet of Things) で、IoTを活用した情報化住宅が「IoT住宅」です。IoT住宅はHEMSのデータや地域情報と連携し、様々なサービスを提供します。

エアコン・LED照明
給湯器などを

スマートフォンで 遠隔操作

外出先からスマートフォンで、エアコンやLED照明、給湯器などを操作できます。夏の暑い日や冬の寒い日に、帰宅時に快適な室内環境をつくることができます。給湯器では、外出先からお風呂の自動湯はりができます。



外出先であわてなくて大丈夫 玄関の施錠確認

玄関の鍵を施錠したかどうか、外出先からスマートフォンを使って確認できます。



留守中の来客も分かる！

インターホン来客通知

外出時に来客があった場合、スマートフォンに通知と画像と一緒に送って知らせます。在宅時には、手元のスマートフォンやタブレットで訪問者と通話できます。



これからの住宅は
IoTを活用した
生活を豊かにする
安心・安全・便利な
サービスを
実現していきます。



当社は「平成28年度ZEHビルダー登録申請」をし、ZEH住宅計画を作成しました！

◆ZEH普及目標及び実績◆

	目標	実績
2016年 平成28年度	4%	4%
2017年 平成29年度	4%	10%
2018年 平成30年度	15%	-
2019年 平成31年度	20%	-
2020年 平成32年度	50%	-

□ZEHの周知・普及に向けた具体策

2020年を見据えた省エネルギー住宅や長期優良住宅に取り組みをHPにも記載を行い、今後は今で以上にZEHへの取り組みをHP・見学会やチラシ等の告知で周知・普及に努めます。
ZEH仕様のモデルプランを作成し、これから新築住宅を検討中のお客様に具体的な内容をわかりやすく見てもらえるようにします。



□ZEHのコストダウンに向けた具体策

サッシや断熱材等使用建材の見直しを行い、性能向上をはかり費用対効果に取り組む。



□その他の取り組みなど

創エネも視野にいれ太陽光発電だけではなく、作って貯めて住宅に使用し、蓄電の情報収集に努めお客様にも情報公開をし興味をもってもらうよう努める。
住宅版BELS取得も視野に入れ建設を進めるように努力する。



BELS表示割合 平成29年度 20%



ゼロエネルギーで、暮らそう。

